

平成 26 年 4 月 25 日

各 位

公益社団法人 全日本病院協会
会 長 西 澤 寛 俊
医 療 従 事 者 委 員 会
委 員 長 織 田 正 道

平成 26 年度「第 13 回病院事務長研修コース」の開催について

平素より全日本病院協会の活動につきまして格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度当協会医療従事者委員会では昨年度に引き続き、病院事務長研修コースを開催する運びとなりました。

当研修は病院事務長を対象として毎年開催しており、今回の開催で第 13 回目を迎えます。カリキュラムは、医療行政の動向や医療会計制度、院内コミュニケーション、定員管理と業務再設計、経営計画策定など多岐に亘り、約 8 ヶ月（月 1 単位、全 8 単位）をかけて研修を行い、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

また受講生には、当研修を通じて習得した成果を最大限に活用し、上司の皆様とのコミュニケーションの一助とする為に、3 回程度、受講生から上司の方に対する受講報告を予定しております。上司の方におかれましては、お手数をお掛けしますが、受講生に対するコメントの記載をお願いしております。

尚、詳細につきましては、今回同封いたしますパンフレットをご高覧いただき、是非ともご参加をご検討いただきたくお願い申し上げます。

参加をご希望の方は、**6月9日（月）まで**に F A X にて参加申込書をご送付ください。多くの皆様のご参加をお待ち申し上げます。

<p><お問い合わせ先> 公益社団法人全日本病院協会 事務局 病院事務長研修コース担当 〒101-8378 東京都千代田区猿楽町 2-8-8 住友不動産猿楽町ビル 7 階 TEL 03-5283-7441 FAX 03-5283-7444 ホームページ http://www.ajha.or.jp/</p>
--

第13回 病院事務長研修コース 参加のお勧め (病院管理士認定)

公益社団法人 全日本病院協会

会 長 西澤寛俊

全日本病院協会は、国民に安全で質の高い医療を医療人が誇りと達成感を持って提供できるような環境整備を行う事を目的に活動しております。平成26年度は医療法等の改正や診療報酬改定がございます。医療機関を取り巻く経営環境はますます厳しさを増すことが予想されます。そのような状況下であっても、各医療機関においては、安全で質の高い、安心できる医療の提供を継続して行かなければなりません。病院経営の一翼を担うべき事務長職への役割期待はますます強まってきております。

特に、事務長職には、当該職務に係る必要な基本知識はもとより、情報や質の管理にいたる幅広い分野にわたっての見識とマネジメントスキルが求められ、地域における医療提供の将来像を見すえた経営改革を提起し、経営計画を策定する能力を高めていくことが期待されます。

今年で第13回を迎える本研修のカリキュラムは、病院経営に必要な基本知識から、医療会計制度の現状、事務長として必要なコーチングとファシリテーションの基礎と応用、院内業務の再設計、経営改革計画の策定など、事務長職に必要とされる幅広い分野を網羅し、過去の受講生の声を反映させながらカリキュラムを更新しており、より実践的な能力を身につけることができる内容となっております。

本研修では、職能練磨のための講義・演習等を行い、全受講生が「自院の経営計画」を策定します。さらに、評価試験に合格された方を「病院管理士」として認定いたしております。

各病院におかれましては、すでに事務長の育成・強化のために種々ご配慮をなされてきておられると思いますが、現下の厳しい病院経営環境の中、健全な病院経営・管理の維持・向上のために、皆様からの積極的なご参加をお待ち申し上げます。



公益社団法人 全日本病院協会

全日本病院協会 医療従事者委員会



第13回 (平成26年度) 病院事務長研修コース (病院管理士認定)

受講のご案内

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

受講要件

- 受講者は現在所属している施設での職歴1年以上の病院事務長、またはこれに準ずる職歴2年以上の経験を有する方で、理事長・院長が適格と認めた方であること(各施設1名)。
- 受講者は研修会において自院の経営健全化計画を作成する為、自院の経営指標や財務諸表及び経営情報を研修会内において開示が可能であり、理事長・院長に経営戦略を提言できること。

- 開講期間/平成26年6月～平成27年1月
全8単位、各単位2～3日間、1日目13時～最終日15時まで
 - 受講料金/全日本病院協会 会員施設職員 1ヵ年・全8単位 420,000円
全日本病院協会 非会員施設職員 1ヵ年・全8単位 520,000円
※一部の宿泊費及び一部の食事代を含みます。
 - 病院管理士認定について/
本研修では、以下の要件を満たした方を病院管理士として認定いたしております。
 - 評価試験に合格すること。
 - 全8単位中、7単位以上出席すること。欠席は1単位のみ可としますが、第7単位及び第8単位の受講は必須とします。
 - 受講定員/48名
 - 研修会場及び宿泊施設
第1単位 ホテルヴィラフォンテーヌ汐留
〒105-0021 東京都港区東新橋1-9-2汐留住友ビル内
TEL03-3569-2220
【アクセス】
 - 汐留駅(ゆりかもめ)改札を出て右方向へ。歩行者デッキを通り、汐留住友ビル2F入口より徒歩1分
 - 汐留駅(都営大江戸線)ゆりかもめ汐留駅方面の改札を出て10番出口方向へ進み、汐留住友ビル地下入口より徒歩1分
 - 新橋駅(JR、銀座線、都営浅草線)汐留口より出て、シオサイト方向(地下1階進み、大江戸線汐留駅10番出口方向)へ徒歩6分
 - 第2単位～第6単位・第8単位 全日本病院協会 大会議室
〒101-8378 東京都千代田区猿楽町2-8-8住友不動産猿楽町ビル7階
TEL03-5283-7441
【アクセス】
 - JR線・都営三田線「水道橋駅」東口より徒歩4分
 - 半蔵門線・都営新宿線・都営三田線「神保町駅」出口A4より徒歩8分
 - JR線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋口より徒歩10分
 - 第7単位 L.M.J東京研修センター 3階大会議室
〒113-0033 東京都文京区本郷1-11-14
TEL03-5842-6690
【アクセス】
 - JR線「水道橋駅」東口より徒歩6分
 - 都営三田線「水道橋駅」出口A6より徒歩3分
 - 丸ノ内線・南北線「後楽園駅」出口3より徒歩5分
- ※宿泊につきましては、第1単位は事務局手配、第2単位～第8単位は各自手配
※単位により会場が異なりますのでご注意ください。
※定員に達し次第、受付を終了させていただきます。ご了承ください。
- 申込締切/平成26年6月9日(月)



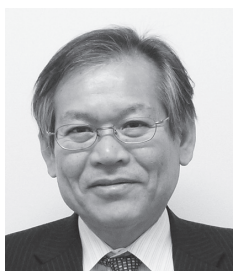
公益社団法人 全日本病院協会

評価試験合格者には、全日本病院協会が『病院管理士』の認定証を発行

事務長基本講座

病院改革計画策定実習

第1単位 平成26年6月21・22日 (2日間)	【講師】 慶應義塾大学医学部 池上直己 経営コンサルタント 萩原正英	■病院経営概論 医療行政の動向を踏まえ、病院経営管理者としての事務長の果たすべき役割を認識します。また、事務長としての役割を全うするために必要な論理的思考法を学びます。加えて、各事務長間の交流を深め、相互研鑽を図ります。	■内容： 医療制度改革と病院の対応方向、事務長に求められる役割と能力、よい事務長の条件、問題解決の思考プロセス、病院経営実態調査結果に基づく現状の問題点、マネジメント課題 他	■病院改革の基本的考え方 病院経営改革の基本構成とその策定方法を学びます。昨年までの事務長研修受講者の経営改革計画の事例を見て、これから策定する病院改革計画の全体像を把握します。次回の第5単位に向けて、自院の将来像を構想します。
第2単位 平成26年7月11・12・13日 (3日間)	【講師】 経営コンサルタント 田中 信 萩原正英	■院内コミュニケーション 院内コミュニケーションの円滑化と職場の活性化に向け、事務長として必要な『コーチングとファシリテーションの基礎と応用』について、演習を中心に習得します。縦割り組織の中での有効なコミュニケーションのスキルを身につけます。	■内容： マネージャーに求められる人間関係構築スキル、聴き方、コミュニケーション、職員の動機づけと職場活性化、コーチングの基礎・応用、会議設計とファシリテーション 他	■病院将来構想 自院の将来におけるありたい姿を構想します。構想の検討に当たり、医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、戦略の基本方向を設定します。
第3単位 平成26年8月22・23・24日 (3日間)	【講師】 経営コンサルタント 飯田真吾	■病院における財務会計と管理会計 病院経営の基礎となる医療会計制度の基本を学びます。事務長に求められる財務の基本を学び、財務的センスを、演習を通じて習得します。制度会計の分析を通じて病院の問題点の抽出と改善検討を行います。	■内容： 医療会計制度の現状と特徴、勘定科目の立て方についての留意点、月次決算と試算表の作成、キャッシュフロー会計、資金繰り表の作成などの制度会計、診療科別収支計算 他	■ベンチマーキングと収支構造分析・病院環境分析 自院の財務指標の実績値を統計値やグループメンバーの病院と比較して、自院の課題を設定します。自院の収支の実態を構造的に整理して、収支改善の余地を検討します。また、病院経営に影響を与えるマクロとミクロの環境分析を行い、環境変化に対応するための課題を設定します。
第4単位 平成26年9月6・7日 (2日間)	【講師】 経営コンサルタント 萩原正英	■経営戦略と組織管理 経営戦略の体系と戦略実現のための組織管理の在り方を学びます。病院の経営を考えると、最上位の経営理念から、ビジョン、戦略、経営計画という戦略体系の流れを理解します。そして、構築した戦略を実現するための組織の統制方法を学びます。	■内容： 経営理念、行動規範、ビジョン、経営戦略、事業戦略、ビジネスモデル、経営計画、業績管理、組織設計、グループ組織設計、組織内方針管理、部門別日常業務管理 他	■診療圏分析 自院において構想した医療法人として目指す方向、医療法人における自院の位置づけを踏まえ、自院を取り巻く診療圏における人口の動向や競合施設の動向を定量的に分析します。
第5単位 平成26年10月10・11・12日 (3日間)	【講師】 経営コンサルタント 萩原正英 田村健二	■人材マネジメントと病院管理機能 事務・管理部門で求められる病院の管理機能について習得します。人材マネジメントの全般、患者の獲得を目指したマーケティングの基本、就業規則や病院法務、リスク管理や危機管理、病院としての広報について学びます。	■内容： 定員設定、人材育成、人事評価、等級制度、賃金制度、ナレッジマネジメント、ABC人材マネジメント、広報、法務3類型（治療法務・予防法務・戦略法務）、就業規則 他	■病院内部環境分析 自院の内部環境を、病院機能と経営資源、組織風土の3側面から分析します。病院機能分析では、グループメンバーの院内の運営を情報交換して、良い点をお互いに吸収しあいます。経営資源分析では、将来に向けて充足すべき資源を確認します。院内で実施可能な風土調査の方法も学びます。
第6単位 平成26年11月22・23日 (2日間)	【講師】 慶應義塾大学医学部 池上直己 経営コンサルタント 萩原正英	■総合テスト 事務長基本講座の第1単位から第5単位までの内容に関するテストを行います。		■病院将来構想の発表・課題設定と改革構想策定 自院の将来構想、戦略の基本方向を相互確認して、納得性の高い構想に仕上げます。自院の将来構想を実現するための課題として、事務長基本講座を通じて認識した課題や病院経営改革計画策定実習の分析を通じて認識した課題を体系的に整理します。
第7単位 平成26年12月13・14日 (2日間)	【講師】 経営コンサルタント 萩原正英			■改革計画の作成方法とプレゼンテーション 経営改革計画策定実習で整理してきた病院の将来像や環境認識、課題の体系をもとに、自院の経営改革計画に取りまとめる方法を学びます。また、策定した改革計画を自院で発表するとき求められるプレゼンテーションの方法についても学びます。
第8単位 平成27年1月17・18日 (2日間)	【講師】 慶應義塾大学医学部 池上直己 経営コンサルタント 萩原正英 他3名			■各院の経営改革計画発表会 受講者全員が自院の経営改革計画を作成して、その改革計画をグループ内で相互に発表しあいます。グループ発表の中で、代表者を選定します。各グループの代表者は、最終日に、受講者全員の前で改革計画を発表して、池上教授や講師からのコメントを得ることができます。



社会医療法人社団正志会
東京リバーサイド病院
後藤 敦志

新米事務長の背中を押して頂き深謝いたします

理事長から研修参加を薦めていただいたのは、永年勤めた銀行から転職して1年が経ち、事務長を引き継いで間もない頃でした。

8か月19日間にも及ぶ内容に躊躇しましたが、熱心な講師の方々と素晴らしい同期生に出会い、初日目で参加して良かったと思い直しました。

印象深かったのは、グループ討議と経営計画策定です。

グループ討議は同期生48名が6人一組に分かれて行い、メンバー変更で様々な方と語り合えます。自院と同様の課題を抱えている方や既に解決した方の話は、病院経験の乏しい私に安心と期待を与えてくれました。

また研修の総仕上げとなる経営計画策定では、同期生が手間暇かけて検討した多くの経営計画とそれに対する明快な講評を視聴し、経営計画のイメージが大いに膨らみました。

今後、自身の計画を研修内容を踏まえて磨き上げ、自院の改善に役立つよう尽力します。関係者の皆さま、今後とも宜しくお願い致します。



社会医療法人川島会
川島病院
瀬尾 裕信

結構楽しい日々

医療界とはほとんど縁のなかった私にとって病院事務長となることは大いなる冒険であり、その職務をこなすため出来るだけはやく種々の知識を詰め込みスキルを高める必要がありました。そのため、事務長研修を受講することとしましたが最初にスケジュールを確認した時は果たして64歳の老骨についていけるであろうかと不安で大きなプレッシャーを感じていました。

しかし、単位が進むごとに着実に得るものがあり、また、同期生との夜の懇親会等で情報交換を行ったり教えてもらったりと貴重な場が提供されて、とても有意義な研修であったと思っています。振り返ってみると課題等も多く休みがとれないということもありましたが結構楽しい日々だったという印象です。

池上先生を初め講師の諸先生、事務局の皆さんには大変お世話になり感謝申し上げます。また、できるだけ多くの方がこの研修に参加し、仲間が増えればと期待しておりますので今後ともよろしく願いいたします。



社会医療法人全仁会
倉敷平成病院
西坂 孝治

病院事務長研修で多くのことを学びました

事務長研修に、当院(社会医療法人全仁会 倉敷平成病院)から毎年職員が参加をしており、とても大きなプレッシャーと期待感と日々の多忙な業務とに包まれ、約8か月間を駆け抜けたという感じです。

研修をとうして強く感じたことは、様々な立場・視点から事務長に求められる職務について多くのことを学ぶことができ、当院の経営改善計画・目指すべき姿等についての分析が行え、また、全国の病院から参加された方々との貴重な出会いにより、とても大切な財産が生まれたということです。

日頃の病院の状況や取組、経営改革計画の発表等を拝聴させていただき、皆さんの病院に対する熱い思いを感じ、とても影響を受けました。また、この研修に参加してきた当院の職員と方向性を共有し易くなったことも、とても良かったと感じております。

池上直己教授、JMACの講師の先生方、全日病協会の事務局の皆さんに、心より厚く御礼申し上げます。それから、今回の研修会に参加された皆さん、お互い頑張って前に進んでいきましょう。本当にありがとうございました。



医療法人篠田好生会
篠田総合病院
森谷 一子

病院事務長研修に参加して

主に現場で医事業務を行い、経営に殆ど関わることがなく、初回課題の「自院のありたい姿」の構想も皆目見当つかなかった私が、最後までついていけるかどうか大変不安でした。

しかし、この8か月間の研修で、病院経営に関わる「財務・管理会計」「人事管理」「業務分析」「組織設計・人材活用」等実際の業務に必要な事を学ばせて頂き、最終の「経営健全化計画」の課題達成まで漕ぎ着けたことは私にとって大きな自信となりました。

振り返りますと、事前事後の課題・毎回の理解度テスト・総合テストは日々の業務プラス研修の勉強でしたので大変辛いものがありました。しかし、病院形態も地域性も年齢も異なる47名の皆さんにお会いする度に、その真剣な姿に感動し自らの奮起の源となりました。グループワークや演習では支えられアドバイスを頂きながら一緒に勉強出来たことはかけがえのない財産となったことは間違いありません。機会がありましたら、是非、この病院事務長研修に参加することをお勧めします。

そして何よりも、厳しくも優しい池上教授はじめ、熱血講師陣、事務局の皆様のご指導には大変感謝しております。今後、この研修で得た知識と、メンバーとのネットワークを活かし、病院に貢献出来るよう前進していきたいと思っています。